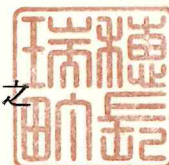




瑞企秘収第3680号
令和2年5月29日

瑞穂町議会議長 古宮郁夫 様
総務産業建設委員会委員長 山崎 栄 様

瑞穂町長 杉 浦 裕 之



総務産業建設委員会からの要望について（回答）

令和2年3月31日付瑞議発第309号で要望のありました「道路改善・買い物
困難者対策についての要望書」について、別紙のとおり回答させていただきます。

No.	担当部署	要望内容	要望についての回答
1	都市整備部 建設課	歩行者や車椅子使用等の交通弱者のため、「やさしい道路づくり」を目指すバリアフリー等の推進を望む。	歩道を設ける道路の新設事業では、車道と歩道の段差が少ないセミフラット形式で施工しています。
2	都市整備部 建設課	町道2号線は、瑞穂中学校及び都立瑞穂農芸高校に沿った道路であり、多くの生徒が通学路として利用している。しかしながら、車通勤による南北の移動路としても多くの車両が通行しており、大変危険である。安全対策として、歩行者用カラー舗装、自動車へのイメージ狭窄の有効性の検討や施工も含め、危険回避に向けた道路づくりを望む。	町道2号線は総延長約3.5キロメートルあります。危険個所の現地調査及び可能な安全対策について、今後、福生警察署等と協議を進めます。
3	企画部 秘書広報課	買い物等の移動時における、交通手段の確保に関する要望が多く、現在、町において、「地域公共交通会議」を立ち上げ検討を始めているが、交通不便地域の早期解消を望む。	<p>現在、地域公共交通会議において、町内の公共交通環境及び住民の移動の需要に即した、持続可能な輸送サービスの確保、その他旅客の利便の増進に必要な事項について検討をしています。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議の開催が先送りとなり検討が遅延していますが、交通不便地域の早期解消に向け、新たな公共交通施策の実証実験の開始を目指し、検討を継続していきます。</p>
4	福祉部 高齢者福祉課	買い物困難者に対して、行政や自治会の一部では支援を始めている。しかしながら、今後、さらに高齢化が進行する中で、身近な商店は減少の一途であるため、歯止めとなる施策、また、高齢者の買い物等に同行し、支援するヘルパー等についての仕組みや体制の検討を望む。	町では、地域からの要望に対し、民間の移動販売車とのマッチングを実施しています。また、町の呼びかけにより、旭が丘自治会（都営住宅）の居住者に対し、買物や電球の交換といった生活支援を低料金で行う自主グループによる活動が始まっています。その他有料になりますが、社会福祉協議会の「ふれあいサービス」、シルバー人材センターによる「家事援助サービス」や「ワンコインサービス」等を紹介しています。引き続き、地域に合ったサービスを研究していきます。